

市民連合



いけがみ
池上 文夫



ネウボラセンターの開設は

問 新年度予算における重点政策のうち、ネウボラセンター開設に係る具体的な内容は。

答 こどもや若者、子育て家庭が抱える課題に対し、現在それぞれの担当部署で受け付けている相談や手続きの窓口を集約し、ワン

ストップの対応をめざしていくものである。

こどもが安全に楽しめる遊び場も整備し、保護者、支援団体などが交流を深める空間や若者が立ち寄りやすい居場所の設置も検討する。まず、8月には、子育てや若者に関する相談、手続きの窓口の開設や、こどもの遊び場の拡充を予定している。

今年度末までに、ワンストップ総合窓口などの整備を行う。

戦後80年における
本市の平和行政は

問 ①平和の尊さ、大切さをどのように発信し、平和行政を推進するか。

②関連事業などの検討は。

答 ①今年は、戦後80年という節目の年を迎える。恒久平和の実現は人類共通の願いであり、普遍の目標である。戦争の惨禍を風化させることなく次世代に継承していく。5月には世界バラ会議福山

大会が開催される。ローズマインドの精神を世界からの参加者に伝えとともに、平和の大切さを世界の人々に発信するため、現在行っているふくやまピース・ラボなどの活動と、世界バラ会議を機に学校で行っているRose & Peace教育との連携を図るなど、さらに多くの若者に平和の大切さを伝える1年にする。

②福山空襲の体験談をアーカイブ化し、映像として残すことで後世に語り継いでいく。



新政クラブ



はまもと
浜本 将矢

幼児期、児童・生徒期の
スポーツ推進は

問 ①運動習慣が身に付いていないこどもへの支援と分析は。
②今後注力していく取り組みは。

答 ①昨年度の広島県児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調

災害時における備蓄品の集配は

問 ①大規模災害が発生した場合の応援物資の保管拠点は。
②各避難所などにおける備蓄量の把握や運搬方法は。

答 ①広島県立ふくやま産業交流館（ビッグ・ローズ）を救護物資輸送拠点とし、各地からの救護物資を受け入れることとしている。

次期福山市空家等対策計画は

問 策定に向けた考えは。

答 実態調査の分析、管理や活用等に関する所有者へのアンケート調査を踏まえ福山市空家等対策協議会で議論をした上で策定する。

査では、令和元年度と比較して17種目全てで数値が低下する結果となった。コロナ禍で運動やスポーツの機会が減少し、その楽しさを十分に感じる事ができない児童生徒が増加したためと考えている。このため、スポーツ教室等を実施するほか、学校の活動の中で体力向上に向けて取り組んできた。

②各学校の好事例を共有したり家庭において良い生活習慣を身に付けるよう保護者への働きかけも行いながら、体力向上や運動の習慣化につなげていく。

②備蓄の状況は、日頃から国のシステムを使って把握している。市の災害対策本部が設置された場合には協定を締結している広島県トラック協会をはじめとする運送事業者に依頼し、ビッグ・ローズから各避難所へ配送することとしている。今後、国においてシステムの機能強化が予定されており、より迅速かつ円滑に拠点から避難所に物資が配送できるよう努める。